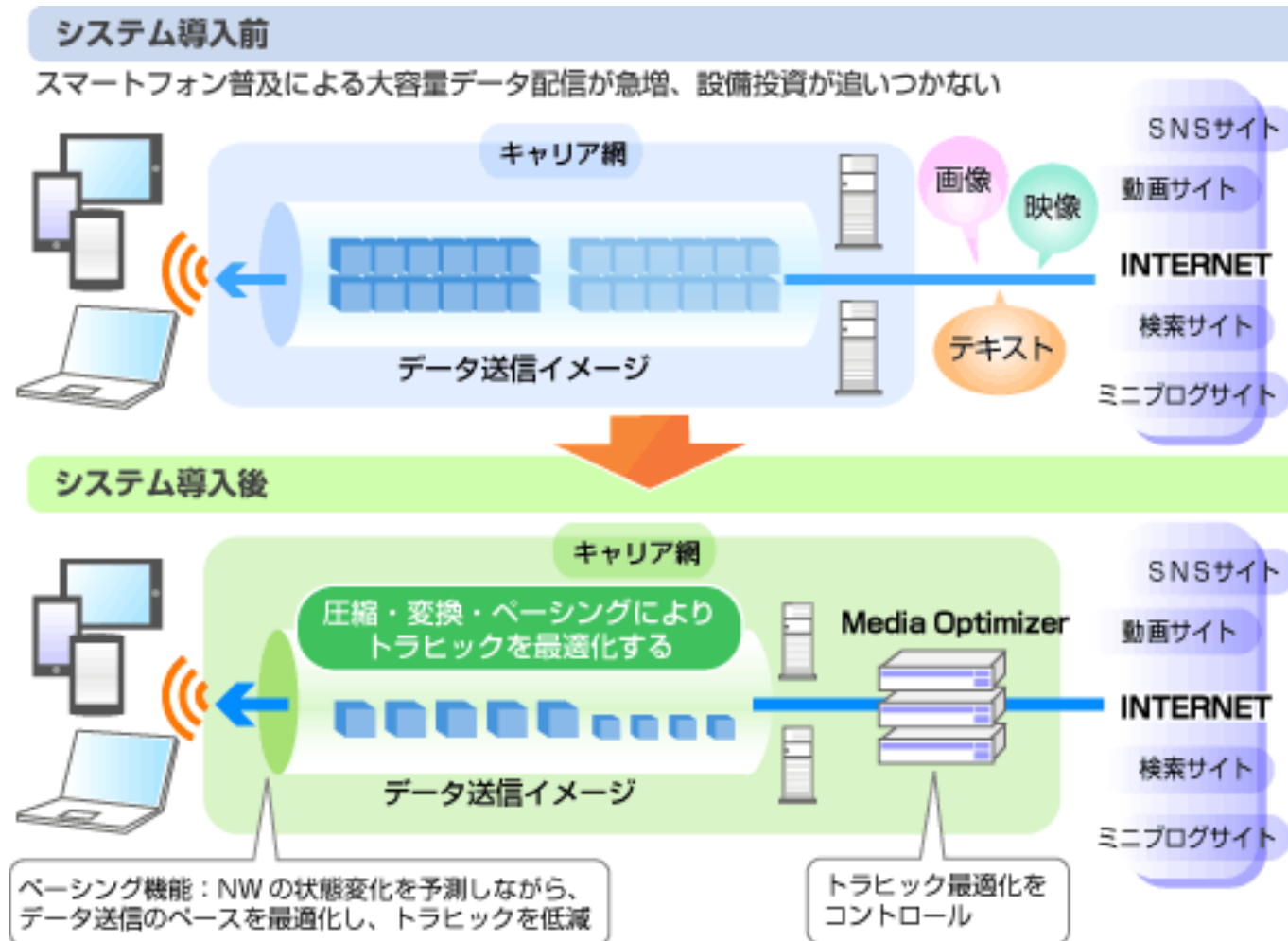


Media Optimizer導入によるスマートフォントラフィックの最適化の 環境負荷評価モデル 1/2

Media Optimizerにて、様々なコンテンツをモバイル端末の特性に合わせて最適化。
最適化でトラフィック量は約10%削減され、キャリア網の設備増強の削減が可能。



Media Optimizer導入によるスマートフォントラフィックの最適化の 環境負荷評価モデル 2/2

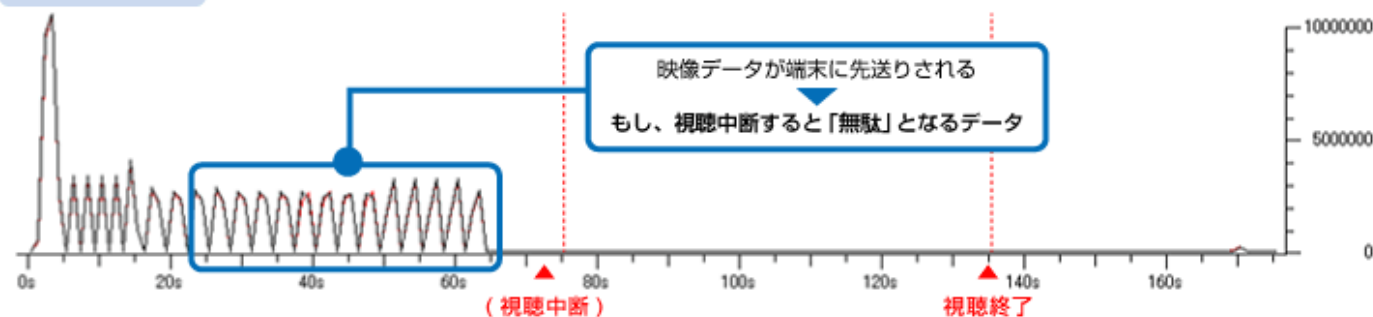
■データ送信イメージの説明

(導入前) 端末からの映像再生要求でサイトから全映像データが一気に送付されます。もし、ユーザが視聴の中断を選択した場合、送付済みの映像データは廃棄され、ネットワークの稼働は「無駄」となります。

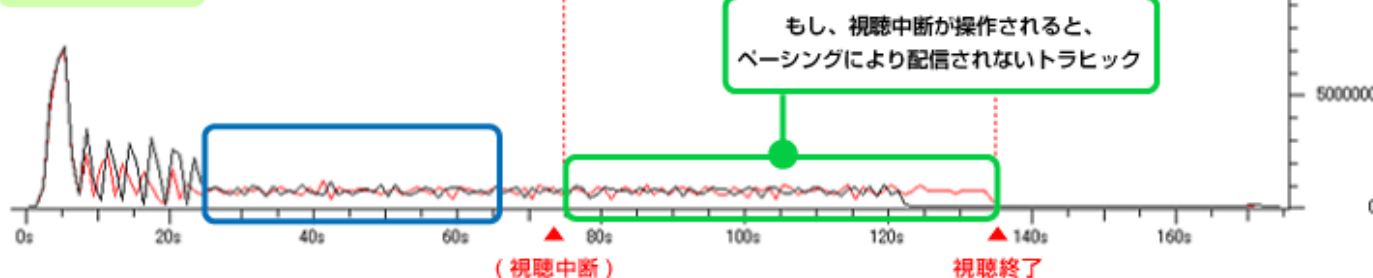
(導入後) Media Optimizerのペーシング機能により、再生テンポと合わせた順次配信で、中断による「無駄」なトラフィック送付を低減します。 ⇒約10%の削減 (動画サイトやコンテンツの種類で変動します)

Media Optimizerは、端末毎のきめ細かいトラフィック最適化を実現

システム導入前 映像データ転送量の実測 (端末1台)



システム導入後 映像データ転送量の実測 (端末1台)



ネットワーク予測に基づくビデオペーシング技術は2012年10月現在、特許申請中

Media Optimizer導入によるスマートフォンラヒックの最適化 の環境負荷評価結果

Media Optimizerの導入により、ネットワーク利用、機器使用の負荷を削減し、
全体で約10%のCO2排出量の削減効果あり。

評価結果の詳細(グラフ)

